



# 東洋学園だより

Vol.10

「東洋学園だより」は、東洋学園大学同窓会および東洋女子短期大学同窓会、東洋学園史料室（旧制卒業生）からの名簿提供（2021年10月22日現在）に基づいてお送りしております。

## CONTENTS

愛知理事長からのメッセージ	1
100周年に向けて、学びの環境整備を/ TOGAKUニュース	2
退任教員から皆様へ/ 編入学・大学院入学のお知らせ	3
インフォメーション	4

東洋学園だより第10号 2022年1月5日発行 [発行・編集] 学校法人東洋学園 学生支援課 〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 TEL.03-3811-1072 E-MAIL.koyukai-info@tyg.jp

## 愛知理事長からのメッセージ

## 「コロナ禍を乗り越えて よりよい授業、キャンパスへ」

東洋学園の理事長と東洋学園大学の学長を兼任する愛知太郎先生に  
大学の近況や今後の展望などをお聞きしました。



学校法人東洋学園理事長  
東洋学園大学学長  
**愛知 太郎**

東京大学大学院工学系研究科金属工学専攻修士課程修了、東北大学大学院環境科学研究科博士課程後期修了。学術博士。同和鉱業株式会社、DOWAメタルマイン株式会社等に勤務。その後、学校法人東洋学園評議員、理事を経て、2017年より理事長。2021年4月、東洋学園大学の学長にも就任。

## 授業の現状とこれから

新型コロナウイルスの影響により、大学教育は大きな転換期を迎えています。本学でも、2020年の春学期は全授業をオンラインで行い、その後、秋学期から一部の対面授業を再開しました。そして、コロナ第5波がようやく落ち着いてきた2021年11月現在は、対面授業の割合を約7割にまで増やし、並行してオンライン授業も行っています。

今後、対面授業とオンライン授業の比率や、双方の授業内容などを検討する余地はありますが、「対面とオンラインを併用する」という授業の在り方は、この先継続していく予定です。

そもそも本学では、コロナ禍の半年前から「将来的にオンライン授業を取り入れよう」と計画し、インフラ整備やソフトウェアの導入を進めてきました。当初は失敗しないように検証を重ね、少しずつオンライン授業を取り入れていく予定でしたが、コロナ禍で一時、全授業のオンライン化を余儀なくされたことで、図らずも一気に改革が進んだというわけです。まさに「案ずるより産むが易し」ですね。



オンライン授業の本格化に伴い、学内に専用の配信室も新設。

しかし、「全授業のオンライン化」は本意ではありませんでした。本学の特徴である「都心の大学」としての存在意義がなくなってしまうからです。そこで、「安全を守りながら、どうやって対面授業を再開するか」をいち早く考え、実行しました。正直、感染リスクの面では、完全オンラインを続けるほうが安全でしたが、都心の大学である我々にはチャレンジが必要だったのです。感染状況を鑑みながら少しずつ対面授業の割合を増やし、現在の形となりました。

現在の授業の在り方は、コロナ禍前から本学が目指してきた姿であるといえます。完成度はまだ6～7割程度ですが、この先も検証を重ねながら、理想的な授業の在り方を追求していきます。

最近では在学生のワクチン接種率も上がっており、今後はより安心して対面授業を行えるようになるでしょう。夏休みには学内で集団接種も実施しました。ワクチン接種は今後、都心で学び、生きていくためのサバイバルスキルになると思います。

## 100周年を迎えるにあたって

東洋学園は今年で創立95周年、5年後には記念すべき100周年を迎えます。あと5年でできることは限られていますが、学生たちが過ごすキャンパスをよりよい環境にしていきたいと考えています。

その一環として、2021年3月には4・5号館のエントランスをリニューアル（P.2参照）しました。新エントランスは、在学生の提案によって「エンカウンターラウンジ」と名付けられ、自習をしたり、くつろいだり、仲間との交流を楽しむ場所として愛用されています。このような居心地のいい場所を学

内のあちこちに設け、学生たちに「リアルな大学生活ならではの」体験を提供できたらと考えています。

また、2021年夏には、「English Lounge」の床面積を1.4倍に拡大し、収容人数を増やしました。同施設は、ネイティブ・スピーカーの教員や英語好きな仲間と交流できる場所です。コロナ禍においてはオンラインで活動していましたが、今後は対面での活動やイベントが増えることを考慮して、スペースの拡大に至りました。

## 在学生・同窓生に向けて

私が本学の学生に期待することは、「やってみる」ということです。私自身もサラリーマン時代、技術者として研究開発に携わる中で、まずやってみて、失敗しながら成功にたどりついたという経験があるからです。当然、リスクやマイナスを計算しながらにはなりませんが、やれることはどんどんチャレンジしてほしい。学びに対して好奇心を持ち、前向きな姿勢で取り組み続けてほしいと願っています。

学ぶ意欲がありながら、経済的理由により学業の継続が困難な在学生には、学びを止めないための支援制度も設けています。東洋学園大学同窓会からも2年連続で多大なご寄付（本ページ下部参照）をいただき、大変ありがたく思っております。同窓生の皆様とは、なかなか交流の機会を持っておりませんが、今後とも母校を見守っていただき、在学生の教育にもお力添えいただけたらと思います。

現在、東洋学園史料室では、「モザイク壁画竣工60周年記念ミニ企画展」（P.2参照）を行っています。同窓生の皆様も、ぜひこの機会に母校へと足をお運びいただけますと幸いです。

## 在学生の学びのために――

## 東洋学園大学同窓会からのご支援

東洋学園大学同窓会より、大学に対して1,000万円のご寄付を賜り、10月30日（土）に感謝状贈呈式を実施しました。昨年に引き続き、同窓生の皆様から大学および在学生に対する温かなご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

同窓生の皆様からのご寄付は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済的影響を受けた学生を対象とした本学独自の

経済的支援を含め、在学生の学びの継続支援、教育環境整備のために活用させていただきます。

また、東洋学園大学同窓会より、本学在籍学生（大学院含む）を応援したいとのありがたいお申し出をいただき、新たに給付型奨学金制度「東洋学園大学同窓会奨学金」が設立されました。同奨学金は2022年度からの運用を予定しています。



感謝状贈呈の様子。大学同窓会会長の柗尾氏（写真右）と愛知理事長（左）。



顧問 江澤雄一

2003年から2017年まで学校法人東洋学園の理事長、2017年から2021年まで学園長を務められた江澤雄一先生が退任され、顧問に就任されました。長きにわたり学園の発展にご尽力いただき、感謝申し上げます。

# 100周年に向けて、学びの環境整備を

本学は、変化する時代に順応するとともに、次の時代を見据えてさまざまな角度から学生の学びをサポートしています。キャンパス整備や支援制度には、校友の皆様からのご寄付も活かされています。

## 新しい学びに合わせた環境づくり

### オンライン学習にも対応する居心地のいいキャンパスへ

「対面授業とオンライン授業の併用」が進む今、キャンパスも「新しい学びの形」にふさわしいものへと整備していく必要があります。

その一環として行ったのが、4・5号館エントランスのリニューアル。本郷キャンパス近くに事務所を構えるベルギーの家具メーカー「Sixinchグループ」の協力を得て、機能性と居心地の良さを兼ね備えた空間へと刷新しました。リニューアルにあたっては、在学生と教職員から名称を募集し、人間科学部

4年の渡邊穂香さんが考案した「エンカウンターラウンジ」に決定。この「エンカウンターラウンジ」には、テーブル席やソファ席がたくさん並び、対面授業の合間に仲間と談笑したり、くつろいだりすることができます。また、奥には1席ずつ仕切られた自習用ブースを備え、各席にPC用電源も確保。オンライン授業（発話を伴わないものに限る）を受けることもできます。

このほか、「新しい学びの形」に合わせて、「メディアセンター自習室」にデスクトップPCとヘッドフォンを完備。これにより、「対面授業とオンライン授業が同じ日の時間帯にある」といったと



きでも、PCを持参せずに学内でオンライン授業（発話を伴わないものに限る）を受けられるようになりました。さらに、ノートPCの貸し出し（学内利用限定）も実施しており、学内は屋上を含む全域でWi-Fiが使用できるため、キャンパス内の好きな場所でオンライン学習を行うことが可能となっています。



4・5号館エントランスに誕生した「エンカウンターラウンジ」。奥に自習ブース（下写真）を備え、オンライン授業の受講にも対応。

## 学びを支援する制度

### 各種奨学金や減免制度を用意 コロナ禍では緊急支援も実施

本学では、学ぶ意欲がありながら経済的理由により就学が困難な学生に対して、さまざまな支援制度を設けています。コロナ禍においては、「給付型緊急支援奨学金」などの緊急経済支援も行いました。

また、2022年度からは、東洋学園大学同窓会によって新設された「東洋学園大学同窓会奨学金」の運用も予定しており、より多くの学生の学びを支援できるようになる見込みです。

今回は、利用学生のコメントを通じて、本学の各種支援制度がどのように活用されているのかをご紹介します。

親の収入が少なく、学費の支払いにためらいを感じていたため、「東洋学園奨学金制度」を利用し、学費の支払いにあてさせてもらっています。私はこれまで、奨学金を得ていたからこそ「大学の顔」となれるように意識して大学生生活を送ってきました。GPA（成績指標値）で最高評価の4.0を保てるように勉学に励み、ICP（国際キャリアプログラム）を履修してアメリカ学部留学に行くこともできました。留学中は積極的に活動し、4つのクラブに所属して多くの友人を作ることができました。帰国後は、IT企業で長期のインターンシップを約1年経験し、就職活動も納得するまで行って、内定をいただくことができました。私の大学生活において奨学金は、心に大きな余裕を生み出し、それがさまざまな活動につながりました。



菅 統子さん



胡 晏寧さん

これまでは奨学金とアルバイトで学費を支払ってきましたが、新型コロナウイルスの影響でアルバイト先の飲食店が時短営業となり、出勤日を減らされてしまいました。当初は親に支援の相談をしましたが、親もコロナ禍で仕事が減って厳しい状況で、さらに兄弟の受験も控えていたため、断念しました。そんな中、コロナ禍における緊急奨学金「給付型緊急支援奨学金（学びの奨学金）」を利用させていただきました。今回の緊急奨学金は、すべて学費の支払いに使って、残りもそうさせていただきます。金銭面ではひとまず安心して大学に通えるようになったので、ほっとしています。



高田 泰知さん

私は1年生の秋学期から4年生の秋学期まで「東洋学園外国人留学生学納金減免制度」を利用させていただきました。学費は両親に支払ってもらっていましたが、減免していただいたことで両親の負担を減らすことができ、安心して4年間の学生生活を送ることができました。私自身は家賃と生活費だけをアルバイトで稼げばよかったので、がむしゃらに働く必要はなく、学校の授業をたくさん履修でき、学業にも集中できました。さらに、自分の興味がある外国語の授業（フランス語、スペイン語、ハンガリー）も全部履修でき、語学を勉強する楽しみを十分に味わうことができました。コロナ禍ではアルバイトが減り、家賃を払うのが厳しくなりましたが、学費を減免していただいたおかげで、両親に追加支援をお願いすることができました。

## TOGAKU ニュース

### フェニックス祭 ～郷郷祭り～

### 昨年に続き、学園祭をオンライン開催 今年は2日間にスケールアップ!

10月16日(土)、17日(日)の2日間にわたって、「第29回 東洋学園大学フェニックス祭～郷郷祭り～」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続いてオンライン開催となりましたが、1日限りだった昨年に対して、今年は2日間に拡大。それに伴って企画も増え、大いに盛り上がりました。



フェニックス祭の詳細はこちら!

### 東洋学園史料室

### モザイク壁画60周年を記念したミニ企画展を1月28日(金)まで開催中

60年前に当時の同窓会が音頭を取り、校友が持ち寄った陶器の欠片を使って作られた「フェニックス・モザイク」。1961年に同窓会から学園に寄贈されて以降、共学の4年制大学になり、校舎も建て替わり、地震やコロナ禍も乗り越えて、今に受け継がれてきました。

学園創立100周年を前に、改めて「フェニックス・モザイク」の歴史を振り返るとともに、当時の東洋女子短期大学の足跡をたどるミニ企画展を東洋学園史料室にて開催中です。校舎建て替え時に失われた4作品を含む「フェニックス・モザイク」の全貌を伝える写真をはじめ、制作当時の今井兼次による構想スケッチなど、今回の企画展でしか見られない貴重な資料も公開している



ので、この機会に母校へと足をお運びください。楽しみながら「フェニックス・モザイク」についての知識を深められる謎解きイベントも同時開催しています。

モザイク壁画 竣工60周年記念 ミニ企画展 展覧会 今井兼次の東洋学園大学(旧東洋女子短期大学) フェニックス・モザイク  
【会期】 2021/11/8(月)～2022/1/28(金) 9:30～16:30 ※土・日・祝および休館日を除く  
【場所】 東洋学園史料室(1号館9階)  
お問い合わせ先 東洋学園史料室 TEL: 03-3811-2840 [E-MAIL] archives@of.tyg.jp [HP] http://www.tyg-archives.jp/

# 退任教員から皆様へ

2021年度をもって退任予定の教員3名から校友の皆様へメッセージをお届けします。



グローバル・コミュニケーション学部 巨 祐介 教授 (前学長)

「世界にはばたく若者の育成に 貢献できて光栄でした」

歴史ある本学の学長を務められたのはたいへん光栄でした。原田規校子元学長の教えと大学の3方針に沿って、グローバル化とダイバーシティを推進し、世界にはばたく若者を育てる時間をいただきました。コロナ危機にあっては、教職員のみなさまのおかげでオンライン授業が展開できました。心から感謝でした。

私は、同僚たちと相談しながら、活気があって面白そうだと受験生に選んでいただきました。おかげでグローバルで意欲ある学生が増えたと感じます。今年の私の授業は、グローバルガバナンスとICPのアカデミックライティングでした。ウイグル族とユニクロ、LGBTと人権など英語で議論する学生は地球温暖化警告主義者に疑問を投げかけ、ヨーロッパでのキャリア

を目指しています。私は、長年大学教員として、先輩教員が気持ちよく退職できるように心がけてきました。これからも、本学の伝統である豊かな教員力を育てる温かい関係を大切にしたいと願っています。私の方針に、もしお気を悪くされた方がいたら、それは私の本意ではありません。私は誠実を旨とし、大学の名誉を重んじてきました。間違っても同僚を無視し追い出すようなことは考えもしませんでした。至誠天に通ず。昨今多くの大学でハラセメントが横行する中、真心は必ず理解され、天が本学を見守ってくれたと信じています。在学生と同窓生、教職員のみなさん、1号館のモザイク画の「岩間がくれるすみれ」のようにご自分らしく有意義な人生を誠実に歩んでください。



グローバル・コミュニケーション学部 古屋 力 教授

「グランジュテとセレンディピティ ～人間と自然にやさしい 世界の地平線に向かって～」

素敵な言葉があります。「グランジュテ (Grand Jeté)」。[「飛躍」です。自分自身のささやかな半生を振り返っても、今日にいたる半世紀を超える人生の中で、幾つかのグランジュテがありました。

長い人生航路の道程は、未知の道程をとばと歩む日々の連続。その道程の要所に、運命のいたずらか、様々な不思議なグランジュテがありました。未知の世界にびよんと飛躍する、あのドキドキするような瞬間がありました。人生は、こうしたグランジュテの不連続線上に、かけがえのない思い出や感動を満載した道程そのものなのかも。こうした不思議なグランジュテが、我々の人生を彩り豊かなものにしてきているのではないかな。

そして、「人生一期一会」というかけがえのない貴重な出会いをもたらす鍵が「セレンディピティ (Serendipity)」です。まさに様々な思いがけない出会いを通じた感動の積りが、人生のかな。自分にとって、30余年の国際金融マンを卒業後に遭遇したアカデミア。東洋学園大学とのご縁は、まさに、嬉しいグランジュテでありセレンディピティでした。本郷で教壇に立ち、毎年恒例のドイツ、デンマークのゼミ宿舎をはじめ、大好きな学生諸君と、愉快で刺激に満ちた心豊かな10余年間の日々を送れたことに、心から感謝しています。さあ、はたして、これからどんなセレンディピティが待っているのかな。ワクワク。いまから楽しみです。



グローバル・コミュニケーション学部 前原 正美 教授

「幸福に生きるために——経済学者として伝えたい2つのこと」

私は、経済学者として、皆さんに次の2点を伝えておきたい。第1点は、アダム・スミスが論じた如く、人間諸個人は、人生の目標を自ら定め、自らの利己心を發揮し、努力を積み重ね、あきらめずにやり抜けば、必ず目標は達成されて幸福になることができる、ということだ。

私は、大学3年生の時に、2つの大きな目標を設定した。ひとつは、高島善哉先生の「アダム・スミス」(岩波新書)に出逢って感動し、経済学者になるという目標を設定した。また私は、もうひとつの目標として、司馬遼太郎先生の「関ヶ原」(新潮社)にも登場する石田三成を日本史上のスーパースターであると直感し、私独自の著書「石田三成」を書く決意をした。大学院で経済学博士の学位を得た後、文科大学、横浜国立大学の講師などを

経て、東洋女子短大、東洋学園大学で専任教員となり、およそ30年の月日が流れた。また「石田三成」(共著、宝島社)はベストセラーとなり、私の著書「愛・時を超えて—私説・石田三成—」は、映画「関ヶ原」で採用された。今後、「石田三成の政治経済学」(中央大学出版局)も公開される。作詞作曲家としては、CD「愛のカサランカ」も好評である。私は、人の望みは、あきらめずにやり抜けば必ず実現する、と確信する。第2点目は、人は「愛」のために生き

ねばならない、ということである。J.S.ミルによれば、人の人生において「自分が他者や社会に与えたことが必ず自分に返る」。それゆえ人は、「愛」に生きてこそ、幸福になれるのである。「愛」に生きることの大切さを示したのは、「大一大万大吉」の旗印を天下に示し、「愛」に生きることの大切さを示したのは、まさにわが先祖の石田三成であった。私の座右の銘は、「一人で生きる勇気を持って」である。「一」人は「万」人とつながっているから、自分の仕事は社会的に認められて必ず評価される。

## 編入学・大学院入学

### 校友の皆様も大学・大学院で学んでみませんか?

本学では、校友の皆様へ卒業後も学びの場を提供し続けたいと考えております。大学への編入学(3年次)や大学院、科目等履修生制度などのキャリアアップ、リカレント教育の場を、学びの段階に応じて設けております。なお、編入学、大学院入学に際しましては「入学金免除制度」をご用意しております。

入学金免除制度について  
本学園卒業生ご本人、在学生及び本学園卒業生のご親族(二親等以内)が本学に入学者となる場合、入学金を免除する制度です。皆様のご親族が本学に入学者の際にも、ぜひご利用ください。なお、必要書類等の詳細は入試室へお問い合わせください。

大学への編入学(3年次)について  
グローバル・コミュニケーション学部、人間科学部、現代経営学部において、専門分野への強い関心と学ぶ意欲を持つ方の入学を求めています。  
大学院入学について  
経営学における専門性と高度な知識を持つ職業人を育成するための高度教育機関です。出願資格等については入試室までお問い合わせください。  
お問い合わせ先 (編入学、大学院入試、入学金免除制度について)  
入試室  
TEL: 0120-104-108 (フリーダイヤル)  
受付時間: 平日(月～金) 9:00-17:00 / 土曜日9:00-13:00 ※大学の定めた休日を除く  
[E-MAIL] nyushi@of.tyg.jp

## 本学大学院の特徴

東洋学園大学大学院の現代経営研究科 現代経営専攻修士課程は、実務に直結した経営学を学ぶことができます。また、所定の単位を収めて大学院を修了することで、FPの国際資格「CFP」の受験資格を取得できます。

専門研究分野(一例)  
経営戦略、マーケティング、人的資源管理、経営組織論、ファイナンス、会計、日本の経営システム、グローバル人材開発、グローバル経営、国際経済学、労働経済学、環境経営、労働と所得格差、デザイン・マネジメント、ソーシャル・ビジネスほか、多彩な研究分野から関心のあるテーマについて学術論文を書くことができます。  
過去の修士論文タイトルをホームページで公開中。

修了後の主な就職先(一例)  
藍澤證券株式会社、アディダスジャパン株式会社、王子コンテナ株式会社、IHI株式会社、上海住友商事有限公司、Bank of China (中国銀行)、その他の民間企業やNPO法人など、幅広い分野で活躍しています。

お問い合わせ先  
大学院事務局  
TEL: 03-3811-1696  
[HP] https://www.tyg.jp/faculty/grad/index.html

### 図書館の利用について

図書館は感染症対策を行いながら開館しています。在学生向けには郵送による図書の貸し出しなど「来館しなくても利用できるサービス」も行い、大学での学びをサポートしています。利用登録をすれば、卒業生も無料で本学図書館を利用できます。ぜひ活用ください。

【登録に必要なもの】卒業を証明するもの（学位記またはそのコピー等）、現住所を確認できるもの（運転免許証等）。

【手続き】事前にお電話の上、図書館までお越しください。

【利用できるサービス】閲覧、文献複写、貸出（図書のみ3冊まで、期間：2週間）

※新型コロナウイルス感染症対策のため利用できない場合があります。最新情報は図書館ホームページでご確認ください。

#### お問い合わせ先

図書館  
【TEL】03-3811-1862  
【E-MAIL】tosho-announce@tyg.jp  
【HP】https://opac.lib.tyg.jp/



#### データベース閲覧サービス（期間限定／在学生・教職員限定）

在学生・教職員は、期間限定で学外から下記のデータベースを利用できます。なお、利用にはIDとパスワード発行が必要です。図書館までメールにてご連絡ください。

データベース名	利用期間
日経BP記事検索サービス	2022年1月31日まで
日経テレコン	2022年1月31日まで
ジャパンナレッジLib	2022年3月31日まで

※上記以外にも学外から利用できるデータベースがあります。詳細は図書館のホームページでご確認ください。

### 各種証明書の発行について

#### 在学生

通学できない学生のために、郵送による証明書申請を受け付けています。

手続き方法等の詳細は、下記ホームページでご確認ください。

https://tgwb.tyg.jp/all/kyomu/2017/02/post-13.html  
(在学生のみ)

#### お問い合わせ先

教務課  
【TEL】03-3811-1696(代)  
【学内専用HP】https://tgwb.tyg.jp/all/kyomu/



#### 卒業生

～2018年4月2日より、郵送先・申込窓口が本郷キャンパスに統合されました～

各種証明書（卒業証明書、成績証明書）は、郵送または窓口での申し込みが可能です。

いずれも申し込みに必要な書類等がありますので、事前に本学ホームページにてご確認の上お申し込みください。

お申し込みは全て本郷キャンパスになります。

#### 所属

- 大学 卒業生 ●大学院 修了生
- 短期大学 卒業生／短期大学専攻科 修了生

#### 郵送先・申込窓口・受付時間

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3  
東洋学園大学 教務課 証明書係  
受付時間：月～金曜9:00～16:30、土曜9:00～12:30  
https://www.tyg.jp/graduate/certificate.html  
\*個人情報の変更は各同窓会へご連絡ください。



### 公開講座について

東洋学園大学では「開かれた大学」を目指し、研究・教育の蓄積を皆様と共有するべく、校友の方にもご参加いただける公開講座をご用意しています。

2021年度は、「公開講座（リベラルアーツ）」、「現代経営研究会」一般財団法人ユーラシア財団 from Asia 助成 特別講座」をオンラインで開講しました。

2022年度の開催につきましては、ホームページをご確認ください。

各講座の詳細・最新情報はホームページで！



### 東洋学園大学同窓会からのお知らせ

新型コロナウイルスの収束が見通せず、会員の皆様におかれましても、困難な状況に直面されている方もいらっしゃるものと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

誠に残念ながら、諸般の事情により2021年度も本会会報は発行を見送り、定期的な異動調査につきましては対象規模を縮小しての実施（予定）とせざるを得なくなりました。

本会事務局スタッフは出校人数を制限してはおりますが、原則週一回出校して業務を行っております。上述の通り異動調査につきましては対象卒業生の数を縮小して実施する予定ですが、本会HP（http://www.tgual.jp/chousa.html）からも随時受け付けておりますのでご利用いただければ幸いです。なお、セキュリティ対策につきましては万全を期すよう努めております。

この未曾有の危機をオール東洋学園（学校法人東洋学園、東洋学園大学、東洋女子短期大学、東洋女子歯科医学専門学校、東洋高校、すべての卒業生、教職員、教職員OBの皆様）で乗り越えていきましょう。

会員の皆様の変わらぬご活躍をお祈りしております。

#### お問い合わせ先

東洋学園大学同窓会室（原則毎週金曜日）  
【住所】〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3  
【TEL】03-3811-1820 【HP】http://tgual.jp/



### 東洋女子短期大学同窓会からのお知らせ

会員の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。新型コロナ禍のため、残念ながら今年度も同窓会活動は休止しています。活動再開の日に向け、会報へのご提案や記事などありましたら、ぜひ皆様からの声を寄せてください。

会報は、会員相互の現状を伝えるばかりか、大学の刻々と変わる姿を知る上で、最も身近なツールでもあります。次号をぜひご期待ください。

皆様からのご意見やご要望、住所や氏名の変更などは、従来通り、メールや郵送でご連絡をお願いいたします。

#### ご連絡先

東洋女子短期大学同窓会  
【住所】〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3東洋学園大学内  
【FAX】03-3811-5102 【E-mail】dosokai@ec.tyg.jp

## 東洋学園大学の教育振興基金へのご協力をお願い

学校法人東洋学園は1926（大正15）年に建学し、今年創立95周年を迎えました。この間、在学生のご父母・保証人や、卒業生各位のお力添えを賜り、高く掲げた理想の教育の灯を消すことなく、今日を迎えることができました。そして来る2026年には創立100周年を迎えます。

本学は①時代の変化に応える大学、②国際人を育てる大学、③面倒見のよい大学、を標榜し、この目的を達するため、教育と研究の質を高め、学部の垣根を越えた交流や支援体制の充実を図り、より良い修学環境を実現します。

このためにご父母・保証人の方々からは学納金をお納めいただき、国からも補助金をいただいておりますが、さらに将来に向けた新規プログラムの展開や施設、設備の充実には多額の資金を要します。本学は多くの方々のご支援を仰ぐことによって、この大きな飛躍を図ることが可能となります。

創立100周年に向け、教育内容の充実、修学環境の一層の整備を図るため、格別のお力添えを切にお願い申し上げます。

東洋学園 理事長 愛知 太郎

#### 募金目的

- 一、 キャンパス教育施設設備の充実  
校舎やグラウンド等キャンパスの教育環境の整備を行い、快適で、安全な教育環境を提供します。
- 二、 奨学金制度の充実  
学業の奨励と経済援助を両輪とし、留学時の負担軽減にも配慮して、有為な人材の育成に資するよう、心の通った奨学金制度を確立します。
- 三、 教育・学術等の研究奨励、振興  
教育・学術の研究奨励、海外派遣等に資する為、毎年度計画的に基金の増額を図り、効果的運用を推進します。
- 四、 学生の課外活動の奨励  
大学内のスポーツや文化活動を活性化し、東洋学園大学への愛校心がさらに高められるよう、全学をあげて支援します。
- 五、 その他  
教育研究の質的向上を図るため、ITを含めさまざまな面から施設環境の一層の充実を図ります。

#### 募金目標額

2千万円

#### 募集期間

2021年5月～2022年3月

#### 寄付金種別

1口 1万円（3口以上のご協力をいただければ幸いに存じます）  
※金額の多寡に関わらずありがたくお受けします。  
ご寄付いただいた方は大学広報誌にお名前を掲載させていただきます。  
匿名をご希望の方は、寄付申込書にその旨ご記入ください。

#### 募集対象

在学生とそのご父母等、同窓生とそのご家族、教職員その他の本学関係者

#### 申込・送金方法

別紙の寄付申込書にご記入いただき、同封の封筒にてご送付ください。送金につきましては、銀行、郵便局、信用金庫、信用組合等で、同封の振込用紙をご利用いただくか、クレジットカードによりお支払いください。金融機関、クレジットカード会社からの入金通知を受けた後、大学より領収書をご送付申し上げます。税務申告にご利用ください。なお、この募金は「任意」のものです。

#### お問い合わせ先

学校法人 東洋学園 法人本部  
【住所】〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 【TEL】03-3811-1731

#### 東洋学園大学教育振興資金寄付者ご芳名（敬称略・50音順）

（2020年4月～2021年3月までにご寄付いただいた方） 団体／法人（1団体／3社）：東洋学園大学同窓会、一般財団法人ユーラシア財団 from Asia 代表理事 佐藤 洋治、株式会社レスターコミュニケーションズ、株式会社ワークアカデミー 個人（8名）：尼子 勝紀、打田 美代子、坂 篤郎、高島 肇久、竹内 俊一、永井 秀哉、村澤 久子、山本 寛之 他、氏名掲載を許諾された方以外のご寄付者：法人4社、在学生、卒業生等を含む個人72名

本学への寄付については、「所得控除制度」または「税額控除制度」が適用されます。詳しくはホームページ（右記QRコード）をご確認ください。

